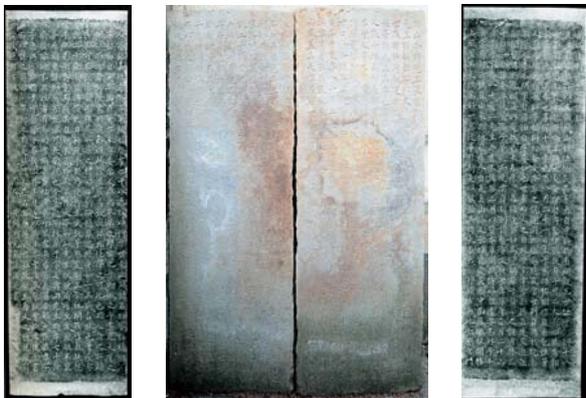


所在地 練馬区練馬四丁目27番地  
 十一ヶ寺墓地迎接院  
 所有者 宗教法人 迎接院



小野蘭山墓



小野蘭山 墓誌、墓誌銘拓本

小野蘭山(1729~1810)は、江戸時代中・後期の本草学を代表する学者です。墓石(棹石)は、小野蘭山の事跡を当時の関係者が記したもので、撰述の多紀元簡は医学、筆跡の屋代弘賢は和学者としての第一人者です。旧跡として保護されてきましたが、小野蘭山の事跡を記した墓石(棹石)と新たに発見された墓誌銘の資料的価値は極めて高いため、有形文化財(歴史資料)へ種別変更・名称変更します。

□東京都指定史跡 しもみわぎょくだやとおうけつぼぐん 下三輪玉田谷戸横穴墓群

旧種別・名称 旧跡 下三輪横穴  
 所在地 町田市三輪町字11号897番  
 所有者 宗教法人 妙福寺

横浜市の寺家ふるさと村に隣接した三輪にある家形構造の横穴墓で、全国的にも類例が少なく東京都内では本例のみです。

横穴墓は4基で、7世紀代のものです。そのうち1号墓と3号墓には天井、壁面に梁、桁、垂木など家の構造が浮き彫りにされており、古墳時代後期家の構造や葬送思想を知ることができる重要な遺構です。

旧跡として保護されてきましたが、史跡に種別変更し、又、名称の下三輪横穴を地域名と谷戸名を併せた下三輪玉田谷戸横穴墓群に変更します。



下三輪玉田谷戸横穴墓群 第3号横穴

## VI 既に指定しているものに保持者を追加して認定をするもの

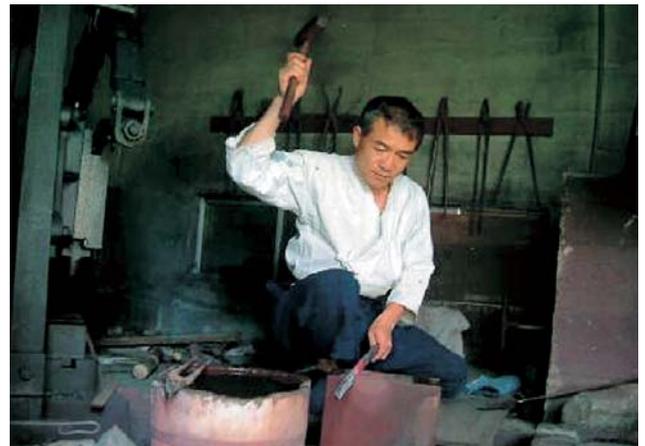
□東京都指定無形文化財(工芸技術)

日本刀制作技術

吉原 莊二(雅号 国家)

日本刀制作技術は、平成16年3月東京都指定無形文化財(工芸技術)に指定されました。

吉原莊二氏は、昭和38年より、本格的に作刀を修行、備前伝の名工、長船派の光忠、長光を手本として、その技術の復元等に大きな功績があります。また、日本刀の高度な制作技術を体得、精通しており、後進の育成にも尽力していることから保持者として認定します。



## VII 指定を解除するもの

□東京都指定旧跡

つばうちしやうたくとふんげいしやうかいえんげきけんきゆうじよあと 坪内逍遙宅址・文芸協会演劇研究所址

所在地 新宿区余丁町114番地

□東京都指定旧跡

やよいしきどきめいしやうゆらいち 弥生式土器名称由来地

所在地 文京区弥生町 東京大学農学部付近

□東京都指定旧跡

めぐりたせつしだいしせき 廻田石器時代遺跡

所在地 東村山市多摩湖町一丁目2番地